

第1回 東部地域小学校統合準備会 要点記録

議 題	準備会の構成・運営・進め方、議題の選定等について
日 時	平成22年6月30日（水）午後7：00～8：30
会 場	第四小学校 視聴覚室
出席者	教育委員会：教育部長・学務課長・学校適正化等担当課長・同主査 学 校：第四小学校長・第六小学校長・神宝小学校長 保 護 者：第四小（3名）・第六小（1名）・神宝小（1名） 自 治 会：関係する3自治会のうち、2自治会から各1名 学校評議員：第四小（1名） 地区青少協：東中学校地区（1名）・大門中学校地区（2名）
傍聴者	1名

※ 会議は教育部長挨拶の後、司会を教育委員会で行うこととして進行した。
東部地域小学校統合準備会設置規約（以下「設置規約」という）・構成員及びスケジュール等の説明を行った。

- 事務局 これまでの説明について、質問・意見があればお伺いしたい。
- 自治会 スケジュールによると、閉校に関する議会の議決が9月となっているが、これは「後になってから議会の議決を行う」ということなのか。これまでに閉校した学校について実施するものなのか。
- 事務局 これは第四小学校についてのものである。
- 自治会 閉校に関連したことであるが、指定校の変更の問題が発生してくると思う。実施計画には指定校の変更を認めるような記述があるが、どのような基準で行われるのか。
- 事務局 閉校時に在校している児童については、例えば、自分の通学区域は神宝小学校であるが第六小学校に通学したい、という場合にも認める、ということである。
- 保護者 スケジュールについて伺いたい。今後入学してくる方もいるので、事前に説明されたほうが良いのではないかと。市報にも掲載するとは思いますが、読まない場合もある。第四小学校が閉校することによる今後の地域の安全性の問題など、地域の方々に理解していただかなければならない問題も増えてくると思うので、地域への説明会を開いていただきたい。
- 事務局 今後入学してくる児童については事務局で把握できるので、就学時健康診断等の際に説明することができる。地域の方々に対しては、閉校後の防災・防犯などの課題もあるので、説明会を実施するかど

	うかについては検討させていただきたい。
青少協	平成24年度の4月1日現在の児童推計では、1年生が3人、4年生が2人となっているが、少人数であっても1クラスという形になるのか。
事務局	複式学級になる可能性もあるのではないかと、いう質問であると思う。1年生と6年生については人数に関わりなく1クラスの編成がなされる。
事務局	東京都の学級編成基準では、2年生から5年生で隣り合う学年の合計児童数が10人以下の場合は複式学級になる。しかし片方が1人しかいなくても、もう片方が6人いれば複式にはならない。5人と5人の場合は合計で10人だが、この場合は複式になる。いずれにしても、合計で10人以下の場合は複式になる可能性がある。
自治会	これまで配属されていた先生はどのようなになるのか。
事務局	異動の基準があるので、それに従うことになる。
自治会	児童の転学とともに、これまでの先生も一緒に異動することはできないのか。
事務局	児童の転学に伴って先生も一緒に異動できれば好ましいとは思いますが、人事に関する事なので、難しい面がある。
青少協	複式学級について、もう少し詳しく説明していただきたい。授業内容についても問題が出てくると思う。1人の先生で対応が可能なものなのか。
事務局	1人の先生で、2学年を担当する形になる。
保護者	今までは10人ほど児童がいた場合の授業と、1人か2人しかいない場合の授業とでは、児童に対してさまざまな影響が出てくるのではないかと。児童にとっては、これまで以上の負担がかかってくると思う。現に第四小学校に通っている立場から言わせていただくと、1年生が全く入学しないという状況は避けてほしい。少人数だとしても、1年生から6年生まで児童がいて、6年生が1年生をお世話するなどの経験をしながら学校生活を送らせてあげたい。しかし新1年生の保護者にとっては、人数の少ない学校に入学させることが本当に子どものためになるのか、という気持ちを察すると難しい問題であると思う。
事務局	非常に難しい問題であると思う。現に今年度（22年度）入学する保護者からも相談があった。計画が発表される以前の段階であったので認められなかったが、計画が既に発表されている現段階では、保護者の希望に沿うような形を考えている。第八小学校のときもそ

のような方法をとった。ご指摘いただいた内容については十分承知している。

保護者 現在第四小学校の学区域にいる児童が第六小学校あるいは神宝小学校に通学する場合、現時点では各学校の安全マニュアルなどがあって、下校時に先生が付き沿うなどの配慮があると思うが、閉校以前に転学する児童に対しての配慮はなされないと思う。それが課題である。

事務局 教育委員会としてもそこが懸念されるところである。まず児童の安全確保が重要課題であると考えている。

事務局 ここで、質問・意見等については、一旦終了させていただく。次に、この統合準備会で取り上げる議題について検討したい。お配りした資料は現時点での事務局案である。ここに示した議題の中で①登下校時の児童の安全策については、ただ今議論していただいているものである。これについては1日ないし半日をかけて皆様とともに現地を実際に歩いて、危険箇所等を確認したい。できれば①を最初に議題として取り上げたい。

青少協 これは3校同時に調査するというのか。あるいは、それぞれの学校区ごとに行うのか。

事務局 基本的には第四小学校から神宝小学校に、または第四小学校から第六小学校に通うための調査である。したがって、第四小学校を中心に調査することになる。通学路が接続する箇所を重点にして、最も安全な箇所を探すことになる。

青少協 この地図上で、どこに何人児童がいるかが分からなければ、調査が難しいのではないか。

事務局 今回の調査は、一人ひとりが通学するコースを調査する、ということではなく、まず、幹線としての通学路を調査したいと考えている。

青少協 東中学校の体育館のところは車の通行が激しく、歩道も無いところである。体育館のカーブミラーも見づらい。中学生ならともかく、小学生の通学路には指定すべきではない。

事務局 第八小学校の場合は日曜日に皆で歩いて調査をし、後日改めて事務局で確認をした。例えば、夜間は暗い、などの確認は事務局で調査をし、それを次の会議で報告した。今回も同じ方法が良いのではないかと思う。

青少協 巡回するときの人数であるが、大勢で一緒に歩くのか、または少人数になるのか。

事務局 多くの人の意見を聞くためには、大勢で歩くのが良いと思う。第八

小学校の場合もそのようにした。皆さんに同じ視点で見えていただくためにも、全員一緒に巡回するほうが良い。また、会議の構成員だけでなく、第四小学校の保護者にも呼び掛けをする。

事務局 日程については7月18日（日）にしたい。午前10時に神宝小学校校門に集合、午後1時に第六小学校校門に集合するということによってよろしくお願いしたい。

事務局 その他の議題についてであるが、ご配布した資料のとおり①登下校時の児童の安全策②閉校後の周辺地域の治安③閉校後の周辺地域の防災、ということによってよろしいか。ただし、会議を進めて行く中で新たに議題としたほうが良いと判断したものについては、その都度加えていくことにしたい。

事務局 通学路そのものの選定方法であるが、幹線となる通学路は決めるが、細部までは決めない。基本的には幹線を決めるものである。自宅から最短距離で幹線の通学路につながるように考えている。

事務局 次回（第2回）の会議日程であるが、7月23日（金）の午後7時から第四小学校の視聴覚室で実施したい。7月18日に実施する現地調査の結果を議題とする。本日はこれをもって終了する。

第1回会議の要点

1. 統合準備会で取り上げる議題は次のとおり。
 - ①登下校時の児童の安全策
 - ②閉校後の周辺地域の治安
 - ③閉校後の周辺地域の防災
 - ④その他（必要に応じて取り上げていく）
2. 議題の①については7月18日（日）に現地を巡回し、危険個所の調査をする。
3. 会議録は、次回の会議までに事前に構成員に配布し、会議の時に確認いただいた後、要点記録としてホームページに掲載する。
4. 地域に対する説明会については、今後の検討課題とする。
5. 第2回目の会議は、7月23日（金）の午後7時から、第四小学校の視聴覚室で実施する。